

健康だより



2011
Vol.14
Jan.

A HAPPY NEW YEAR

今年も、みんなが元気にイキイキと楽しく働ける職場を目指して、色々な情報を発信していきたいと思います。

実験中の事故に
注意しましょう！



《 大学内でこんな事故が起きています！ 》

クリオスタットやマイクロームによる事故が起きています！

病理標本等を作製する際、凍結切片やパラフィン切片を薄くスライスする(μmの厚さ)ための機械にクリオスタットやマイクロームがあります。

長崎大学でも、学生や教職員による切創事故が発生しています。刃先はとても鋭利ですので、最悪の場合、指を切断したり、動脈を切断し出血が止まらない場合もあります。

ケースA

- ・作業経験：約1年
- ・事故内容：作業終了後、内部を筆で掃除をしようとして、うっかりむき出しの刃に中指が触れ、切創を負った。

ケースB

- ・作業経験：はじめての作業
- ・事故内容：作業中に試料の位置を微調整しようと手を入れたところ、うっかりロックを忘れており、試料台が大きく動き、親指に切創を負った。

ケースC

- ・作業経験：約4ヶ月
- ・事故内容：凍結切片を作成中に、クリオスタットの自動装置に誤って足が触れ、右手親指に8針縫う裂傷を負った。

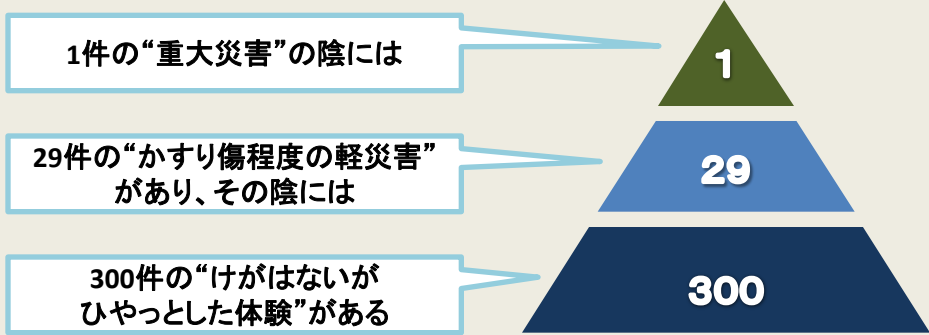
《 使用上の注意点 》

- ①必ず最初に試料ブロックを固定し、それからナイフ/替刃を取り付けてください。
- ②ナイフや試料を取り扱うとき、試料ブロックを交換するとき、クリーニングを行うとき、または休憩を取るときには、あらかじめ装置をロックして刃先をナイフガードでカバーしてから行ってください。
※取り扱う機械によって異なりますので、必ず確認をしてください。

作業前には、必ず取扱い教育を実施し、作業者が分かりやすい場所に作業中の注意点について表示しておきましょう。

管理監督者には、事業主等しく部下に対しての“安全配慮義務”があり、違反すると罰せられます。また、それは学生に対しても適用される可能性があります。

■ ハインリッヒの法則(労働災害の発生確率)



普段から、自分たちの行っている作業の中にどのようなリスクが潜んでいるのかを確認しあい、それに優先順位をつけ、対処法を見えるところに掲示しておくなど、小さな職場単位で**リスクアセスメント**を日常化しておきましょう。

